

○「第２期京都市ホームレス自立支援等実施計画」に係るパブリックコメント

No.	該当箇所	意見	意見に対する考え方
1	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (3)保健及び医療の確保 エ ホームレスのこころのケア	ホームレスを精神的病気と仮定し、ホームレスに至った経緯をヒアリングし、その中でカウンセリングやケア、健康上・精神上、社会に出ても問題ない状態まで入院(寮内治療)させてはどうか。寮内治療において、職業訓練(体験学習等により自分に合う仕事を見つける)を実施し、日常生活サイクルを安定させる	4章－2－(3)エにおいて、ホームレスのこころのケアについて記述しているとおりであり、必要に応じて医療機関への受診等、専門機関へ繋げるよう支援することとしております。
2	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施 ア ホームレスの状況に応じた保護の実施	生活保護の運用について、居宅保護を希望する者に対し、必ず居宅保護を開始されたい。	御意見については、これまでから、居宅生活が可能と判断された方については、敷金等の支給をはじめ、居宅での保護を適用しているところであり、本計画においても4章－2－(6)ア(ウ)に記述しているところです。
3	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 ウ 居宅生活を継続させるための支援	金銭管理、健康管理、社会参加に関する参加型プログラムを策定し、訪問活動を実施する、あるいは同様の活動をしている民間団体に補助金を支出するなど、総合的に居宅生活への移行を支援されたい。	4章－2－(7)ウ(イ)において、「ホームレス地域サポート支援事業」の実施を検討しております。
4	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	公園清掃などの都市雑業的な就労機会を創出して積極的な支援をされたい。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
5	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援 イ 巡回相談による各種施策への橋渡し	精神保健福祉士や社会福祉士などの専門資格を有する巡回相談員を配置されたい。	巡回相談事業については、これまでから相談活動の実績のあるNPO法人等への委託を予定しており、委託の際にこれらの専門資格を有する相談員の配置について検討していきます。 また、保健師、看護師等がホームレスの起居する場所に訪問し、健康相談等に応じる「ホームレス保健サービス支援事業(仮称)」の実施を検討します。
6	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 イ 民間団体との連携	行政の各担当部署のみならず、職業安定所、民間支援団体、弁護士会など関係者によるケース検討会を定期的に実施されたい。	地域の実情やホームレスの個々の問題を把握し、ホームレス問題に関する協議、調整、相談事業計画の企画立案及び策定やホームレスに対する相談活動を効果的に行えるようにするため、行政、ホームレス支援団体、地域住民等で構成する協議会の設置を検討します。
7	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 1 目標及び取組の三つの柱	貧困の要因は本人自身によるものではなく、社会の構造が生み出すものであり、市民全体に関係のある問題である。公園や観光地にホームレスがいると気分を害す、迷惑だという態度でなく、市民と行政が一体となって支援を進めていくことが求められている。	ホームレスへの理解については、4章－2－(9)アによりホームレスの実情についての理解の促進を図る啓発を実施するとともに、4章－2－(7)ウにおいて、居宅確保後に地域での生活を継続するための支援活動に対する費用を助成する「ホームレス地域サポート支援事業」の実施を検討しており、市民と行政が一体となって支援することとしております。
8	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	炊き出し情報等、ホームレスに関する情報提供を行ってもらいたい。	炊き出しについては、本市が実施しているものではありませんが、実施団体等からの周知ビラの掲示依頼があれば、福祉事務所等での掲示を実施しております。
9	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶の買取価格が下落している。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
10	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (2)安定した住居の確保	アパートの確保のために保証人が見つからずに困っている。住居情報を積極的に提供してもらいたい。	安定した住居の確保を図るため、支援団体等との連携による住宅確保の支援や、民間住宅の情報提供等に努めていきます。
11	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施 ア ホームレスの状況に応じた保護の実施	お金がなく困っている。社会保障制度をもっと良くしてもらいたい。	社会保障制度については、ホームレスに限らず、全国民を対象として、国において議論されているところでもあります。 各種相談については、4章－2－(1)のとおり福祉事務所等で実施しているところです。
12	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶の買取の値段が安いので行政の力で補助してもらいたい。	本市においては買取に係る補助等は実施しませんが、就業機会の確保について、4章－2－(5)のとおりとしているところです。
13	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	アルミ缶が安く、食事代もたまらない。	各種相談については、4章－2－(1)のとおり福祉事務所等で実施しているところです。 また、補食の支給についても、月曜から金曜の配布に加え、土曜・日曜分の配布を実施していきます。

No.	該当箇所	意見	意見に対する考え方
14	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (4)ホームレス自立支援事業の推進 (6)生活保護法による保護 の実施	中央保護所及び自立支援センターの定員を増やして欲しい。	中央保護所及び自立支援センターの定員については、現在のところ、増員する予定はありません。
15	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 イ 民間団体との連携	夜回りの会の支援に対して感謝している。	ホームレスの支援者団体等については、引き続き連携を図っていくこととしています。
16	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	ハローワーク以外でも職業紹介をできるようにしてほしい。	下京ハローワークにホームレス専門の相談員を配置しているところであり、きめ細かな相談を実施しております。
17	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施	中央保護所の運営を明確にしてほしい。	中央保護所につきましては、ホームレスの状況に応じた施設への転換を目指すこととしており、具体的な内容については、今後検討していくこととしております。
18	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	女性対応を実現するように。	女性のホームレスに対しては、簡易宿泊所等を活用し対応しておりますが、引き続き検討していくこととしております。
19	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	住所がなくても出来る仕事がほしい。ハローワークに行ってもなかなか仕事が見つからない。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
20	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	タバコの支給をして欲しい。炊き出しの情報提供をお願いしたい。補食をパンから弁当券にしてもらいたい。	タバコ及び弁当券の配布については、実施予定はありません。 炊き出しについては、本市が実施しているものではありませんが、実施団体等からの周知ビラの掲示依頼があれば、福祉事務所等での掲示を実施しております。
21	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	シェルターを建設して欲しい。	シェルターについては、現在建設の予定はありません。
22	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 1 目標及び取組の三つの柱	就職による完全自立→野宿生活を続けながら仕事をする→現状の生活を確保→生活保護という手順で施策を考えてはどうか。	ホームレスについては、個別事情に即した支援施策が必要であることから、福祉事務所等での相談においてニーズを把握し、適切な対応を行うこととしております。
23	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶が安く困っている。生活がやっていけないので何とかして欲しい。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
24	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 1 目標及び取組の三つの柱	世界的大不況の中、職を失い、住居もなく困っている人が多い。	御意見を踏まえ、必要な施策を実施していきます。
25	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶が安く困っている。生活がやっていけないので何とかして欲しい。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
26	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶の買取について	本市においては買取に係る補助等は実施しませんが、就業機会の確保について、4章－2－(5)のとおりとしているところです。
27	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (2)安定した住居の確保	バックアップセンターの保証人斡旋の周知が出来ていない。	バックアップセンターとの関係については、保証人斡旋の周知等を含め、さらなる連携強化を図っていくこととします。
28	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	こころのケアも巡回相談が必要では。女性に対してもう少し配慮してもらいたい。	巡回相談の結果等を分析し、必要に応じてこころのケアに関する相談についても検討することとします。 女性のホームレスに対するケアについては、簡易宿泊所の確保に加えて、さらなる支援策について検討してまいります。
29	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	就労支援連絡会議をもっと積極的に開催するべき。	必要に応じて適宜開催することとしております。

No.	該当箇所	意見	意見に対する考え方
30	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施	中央保護所の入所システムの改善が必要。	中央保護所につきましては、ホームレスの状況に応じた施設への転換を目指すこととしており、具体的な内容については、今後検討していくこととしております。
31	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (9)ホームレスへの理解の促進と人権擁護及びホームレス等安全確保	人権教育・啓発に関する取り組みを具体的に示して欲しい。	ホームレスの実情についての理解の促進を目的とした人権学習会(ワークショップ)の開催や人権情報誌への啓発記事の掲載等による人権教育・啓発を推進するとともに、学校においては、全教育活動を通じて、人権尊重の精神を育む人権教育を推進します。
32	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	補食をもっと充実したものに(1日2食と7日間支給)してもらいたい。(2件)	補食の支給については月曜から金曜の配布に加え、土曜・日曜分の配布を実施していきます。
33	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施	アルミ缶の価格が下落しているため、生活保護の申請を考えており、迅速な対応をお願いしたい。	4章－2－(6)アのとおり、個々の状況に応じた保護の実施に努めていきます。
34	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	アルミ缶の価格が下落しており、どうしようもない。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
35	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	補食をもっと充実したものにしてもらいたい。	補食の支給については月曜から金曜の配布に加え、土曜・日曜分の配布を実施していきます。
36	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (6)生活保護法による保護の実施 ア ホームレスの状況に応じた保護の実施	生活保護の相談に行ったが、門前払いされた。	4章－2－(6)アのとおり、個々の状況に応じた保護の実施に努めていきます。
37	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 1 目標及び取組の三つの柱	いろいろな支援もその場しのぎでしかない。今の世の中の現状が落ち着くまでじっと耐えるしかない。	ホームレスについては、個別事情に即した支援施策が必要であることから、福祉事務所等での相談においてニーズを把握し、適切な対応を行うこととしております。
38	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	今の生活から何とかしなければと思っているが、何から手をつけたらいいのかわからない。	ホームレスについては、個別事情に即した支援施策が必要であることから、福祉事務所等での相談においてニーズを把握し、適切な対応を行うこととしております。
39	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 イ 民間団体との連携	ホームレスが高齢であるため、夜回りをしている団体とも連絡をし、野外で死亡されることがないようにして欲しい。	ホームレスの支援者団体等については、引き続き連携を図っていくこととしています。
40	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	巡回相談については、その場から退去させることが目的とならないようにして欲しい。	ホームレス巡回相談事業については、医療・福祉等の相談に応じるために実施するものであり、ご指摘の意見を十分に踏まえて実施していきます。
41	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 イ 民間団体との連携	ホームレスを支援されている方と市が関係を深める必要がある。	ホームレスの支援者団体等については、引き続き連携を図っていくこととしています。
42	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 1 目標及び取組の三つの柱	昨今の派遣切り、雇い止め等による住居喪失者については、これまでのホームレスとは状況も異なっており、具体的な対応策を盛り込む必要があるのではないか。	今回の計画については、国の基本方針や19年の実態調査を踏まえて策定しております。昨年からの雇用情勢の悪化に伴う派遣切り・雇い止め等への具体的な取り組みについては、本実施計画策定後においても、「京都市緊急経済・雇用・生活対策本部」において、必要な対策を講じていくこととしております。
43	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	巡回相談事業の系統的、継続的に実施する体制の確立が望まれる。	巡回相談事業のあり方については、関係機関とも連携し、実施方法等引き続き検討していくこととしております。
44	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (3)保健及び医療の確保 エ ホームレスのこころのケア	こころのケアの必要性が高まってきており、自立支援センターにも専門員の配置が必要と思う。	4章－2－(3)エのとおり、保健所やこころの健康増進センター等において支援しているところですが、自立支援センターの入所者の状況等を把握し、対応を検討します。

No.	該当箇所	意見	意見に対する考え方
45	第5章 実施計画の推進に向けて 実施計画の推進体制	ホームレスの就労に向けて、京都市各部局とも連携し、就業機会の創造に向けた協議を強めていく必要がある。	御指摘のとおり、実施に努めてまいります。
46	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 ウ 居宅生活を継続させるための支援	居宅後のホームレスのアフターケアのための巡回相談や地域・町内会との交流ができるよう「ホームレス地域サポート支援事業」の実施は重要である。	御指摘のとおり、実施に努めてまいります。
47	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (1)生活相談等の実施による各種ニーズの把握と個別事情に即した支援	ホームレスとなった方についてはそれぞれ原因がある。これらを分析し、ホームレスとならないための予防、防止的な取り組みが必要である。	法においては、計画の内容として、ホームレスへの支援及びホームレスとなるおそれのある者が多数存在する地域を中心として行われるこれらのものに対する生活上の支援としていることから、本計画においては、予防・防止的な具体的な取組みの記述はありませんが、個別事情に応じた相談については、これまでから福祉事務所において実施していることから、引き続き適切な対応に努めてまいります。
48	第1章 実施計画の見直しに当たって 1 計画の目的 2 計画の位置付け	働く意欲のない人に対する支援、本計画については反対である。	ホームレスについては、ホームレスとなった経過については個別の事情があり、本市としましても、法律の趣旨に基づきホームレスに対する支援を進めていくこととしております。
49	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (7)居宅生活を継続させるための支援 イ 民間団体との連携	もっと現場を見てもらいたい。 支援者の一人として、一人でも多くの方が安心して暮らせる地域社会、京都市と一緒に取り組んでいきたい。	ホームレスの支援者団体等については、引き続き連携を図っていくこととしています。
50	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (9)ホームレスへの理解の促進と人権擁護及びホームレス等安全確保	「野宿等厳禁」の看板は、人権侵害である。	野宿等厳禁については、ホームレスの退去を目的としたものではなく、公共の場を占有するような迷惑行為を広く禁止する意味合いで設置しております。公園などの公共施設の適正な利用を確保するための必要な対応であり、ご理解をお願いします。
51	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (5)就業機会の確保	社会的就労の確保、資源リサイクルの労働に対する最低賃金の保障に努めるべき。	就業機会の確保については、民間企業における雇用機会の創出や雇用の促進を図っていくことを基本とし、京都労働局や京都府との連携による職業訓練機会の確保を図るとともに、本市独自に就業機会の創出も検討することとしております。
52	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (2)安定した住居の確保	ホームレスが願っているのは安定した住居の確保だと思う。	安定した住居の確保を図るため、支援団体等との連携による住宅確保の支援や、民間住宅の情報提供等に努めていきます。
53	第2章 第1期計画の取組状況 2 重点取組項目の取組状況	自立支援センターの就労率の算出方法について、京都市の数値と全国平均の数値の根拠が合致しないのではないかと。	ご指摘のとおり、修正しました。
54	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (4)ホームレス自立支援事業の推進 オ 退所者等に対するアフターケアの実施 (7)居宅生活を継続させるための支援 ウ 居宅生活を継続させるための支援	アフターケア事業について、「居宅生活を継続させるための支援」「(自立支援センター等)退所者に対するアフターケア」はそれぞれ個別の体制・人員で実施していくことが合理的・効果的であると考えます。	巡回相談事業のあり方については、関係機関とも連携し、実施方法等引き続き検討していくこととしております。
55	第4章 ホームレス支援施策の推進方策 2 具体的な取組方策 (9)ホームレスへの理解の促進と人権擁護及びホームレス等安全確保 エ 地域住民の不安感の除去	地域住民等の不安感の除去については、『ホームレス同士の暴行事件』に関する正確な現状を示したうえでの対策が必要である。	本市においては、暴行事件等の報告はありませんが、現に他都市において事件が発生しており、また市民からの意見も踏まえ新たに盛り込んだものです。